

令和5年3月13日

報道機関 各位

藤本幸夫先生 日本学士院賞・恩賜賞 受賞記念講演会
「朝鮮本研究五十余年：来し方を省みて（第二回）」

■概要

令和3年、富山大学名誉教授の藤本幸夫先生が日本学士院賞ならびに恩賜賞を受賞されました。日本学士院賞は、日本の学術賞として最も権威のある賞であり、恩賜賞は、日本学士院賞のなかでも特に優れた業績を修めた研究者に贈られる賞です。

古来、日本には数多くの朝鮮本が伝わっており、わが国の文化にも大きな影響を与えてきました。しかし、朝鮮本は中国本に混じって著録されることが多く、朝鮮本に特定した目録もほとんどなかったため、これまでは研究の基礎となる資料の整理が十分でない状態がながく続いてきました。藤本先生のご業績はこうした研究の空白を文字どおり埋めるものであり、とりわけ、このたびの受賞理由となりました『日本現存朝鮮本研究 史部』は、朝鮮学の研究集成として画期的な意義を有するだけでなく、中国学や日本学の研究にとっても貴重な学術的財産と申して間違いありません。

この講演会では、先生の学問の足跡をあらましご紹介いただいた第一回に引き続き、いよいよ朝鮮本研究の核心に迫るお話をしていただき、その魅力と今後の可能性に触れて参りたいと存じます。

日本を含む東アジアの古典籍に関わる事柄はもとより、ふだんはあまり意識されることのない日朝の文化交流の軌跡を知る上でも貴重な機会です。こうした分野には馴染みのない方々も、どうぞ奮ってご参集くださいますようご案内申し上げます。

- 講師 藤本幸夫 先生：富山大学名誉教授、麗澤大学名誉教授、公益財団法人 東洋文庫研究員
- 日時 令和5年3月15日（水） 13：00-14：30（12：30 受付開始）
- 対象 学生・教職員、一般の方々
- 場所 中央図書館2階プレゼンテーション・ゾーン
- 申込 不要
- 主催 藤本先生の受賞を寿ぐ会・富山大学附属図書館

【本件のお問い合わせ先】

富山大学人文学部 徳永研究室

E-Mail: tokunaga@hmt.u-toyama.ac.jp

富山大学附属図書館

E-Mail: libsoumu@adm.u-toyama.ac.jp TEL: 076-445-6891

藤本幸夫先生 日本学士院賞・恩賜賞 受賞記念講演会

朝鮮本研究五十余年

—来し方を省みて— (第二回)



藤本幸夫 先生

富山大学名誉教授、麗澤大学名誉教授
公益財団法人 東洋文庫研究員

受賞対象: 著書『日本現存朝鮮本研究 史部』
(大韓民国 東国大学校出版部、2018年7月)

藤本幸夫先生は、ご著書『日本現存朝鮮本研究 史部』(大韓民国 東国大学校出版部、2018年7月)の長年にわたる業績が高く評価され、2021年に日本の学術賞としては最も権威のある「日本学士院賞」と、日本学士院による賞の中でも特に優れた業績をおさめた研究者に贈られる「恩賜賞」を受賞しています。

〈会場〉
中央図書館 2F
プレゼンテーションゾーン



日本には古くから数多くの朝鮮本が伝わっていますが、藤本先生のご著書『日本現存朝鮮本研究』は、約半世紀にわたる実地調査を踏まえ、「史部」と「集部」に分類される朝鮮本について、詳細かつ周到な考察を加えた書誌学の金字塔ともいべき業績です。

従来、朝鮮本は中国本に混じって著録されることが多く、朝鮮本に特定した目録はほとんどありませんでした。またその扱いや記述には間違いも多く、必ずしも学術的価値は高いものではありませんでした。わが国に現存する朝鮮本の網羅的な調査・分析をもとにまとめられた本書は、朝鮮学の研究集成として画期的な意義を有するだけでなく、中国学や日本学に携わる内外の研究者にも貴重な学術的財産となるものです。

この講演会では、先生の学問の足跡をあらましご紹介いただいた第一回に引き続き、いよいよ朝鮮本研究の核心に迫るお話をさせていただき、その魅力と今後の可能性に触れて参りたいと存じます。

【共催】藤本先生の受賞を寿ぐ会・富山大学附属図書館

★ お問い合わせ先

・富山大学附属図書館

富山市五福 3190 番地 富山大学五福キャンパス

E-Mail: libsoumu@adm.u-toyama.ac.jp

TEL: 076-445-6891

・富山大学人文学部 徳永研究室

E-Mail: tokunaga@hmt.u-toyama.ac.jp

事前申込不要 聴講無料
学生・一般の来聴を歓迎します